

芸術に触れよう 彫刻家 中村晋也氏の作品を巡る

本市は11月1日、中村晋也氏に名誉市民の称号を授与しました。そこで、市内にある同氏の作品をご紹介します。



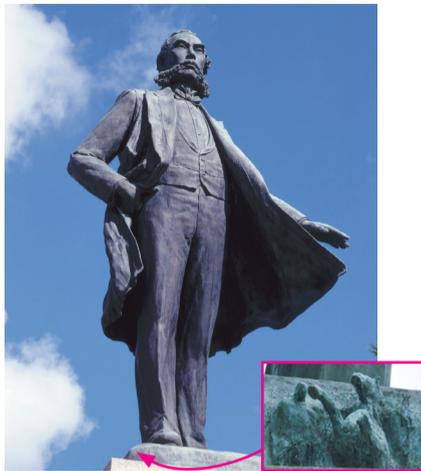
2 若き薩摩の群像 1982(S57)

■所在地 JR鹿児島中央駅前(中央町1-1)
島津斉彬公の精神を受け継ぎ、鎖国の禁を破って英国へ留学した薩摩藩英国留学生たちの群像。留学生たちは学問や技術を習得し、彼らの経験は日本の近代化に大きく生かされた。
本市の50万人都市達成を記念し、建立された。



1 E O S 1989(H元)

■所在地 長島美術館前庭(武三丁目42-18)
EOS(エオス)はギリシャ神話に登場する曙の女神。ランポス(光)とパエトーン(輝かしきもの)と呼ばれる2頭の馬にひかれた戦車に乗って空を馳せ、太陽神ヘリオスの先駆として、闇と戦いながら天空の門戸を開く。大地に最初の光をもたらすエオスのテーマを、世界に希望をもたらすものの象徴として取り上げた。



3 大久保利通公 1979(S54)

■所在地 甲突川左岸緑地(西千石町1)
明治維新後、初代内務卿に就任し、明治政府の中心人物として日本の近代化に尽力。明治という時代の風を受け、フロックコートの裾をひるがえすさっそうとした姿の像の足元には、大久保が暗殺された際、一緒に亡くなった御者と馬の像も作られている。



4 西南の役官軍戦没者慰霊塔 1977(S52)

■所在地 祇園之洲公園(浜町1-3)
西南戦争最後の決戦場となった鹿児島島で戦死した、官軍戦没者1270人の遺骨を納めた慰霊塔。



5 天璋院 2010(H22)

■所在地 鹿児島城址 現・黎明館前庭(城山町7-2)
激動の幕末、徳川家に嫁ぎ、約400年続いた徳川幕府の幕引きを成し遂げた天璋院。島津斉彬の幼女として暮らした故郷の鹿児島城址に建立された。



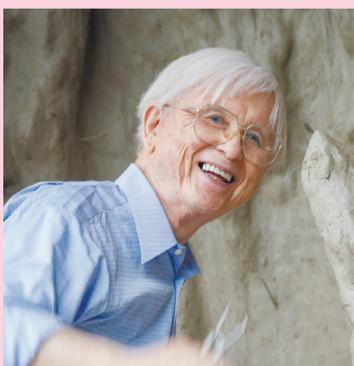
6 薩摩辞書の碑 1981(S56)

■所在地 県立図書館(城山町7-1)
海外留学を熱望した薩摩の学生、高橋新吉、前田献吉、前田正名らは留学費用を得るため、明治2年、和訳英辞書を上海で出版。薩摩辞書と称して非常に珍重され、以後復刻6回を重ねるに至った。気骨に満ちた若き薩摩人たちの偉業をたたえる碑である。



ほかにも市内にたくさんの作品が!

作品名	制作年	所在地
7 貴様と俺の碑	1966(S41)	鴨池公園(鴨池二丁目27-1)
8 おしゃれな渡り鳥	1978(S53)	市立美術館(城山町4-36)
9 水辺の囁き	1978(S53)	県立鹿児島中央高等学校(加治屋町10-1)
10 奏でる	1979(S54)	市民文化ホール(与次郎二丁目3-1)
11 坂本龍馬新婚の旅碑	1980(S55)	天保山 太陽橋前(天保山町13内)
12 星の祈り	1981(S56)	市民文化ホール(与次郎二丁目3-1)
13 赤十字従軍看護婦像	1983(S58)	日本赤十字社鹿児島県支部(鴨池新町1-5)
14 焦躁の旅路	1984(S59)	市立美術館(城山町4-36)
15 朝の祈り	1987(S62)	谷山サザンホール(谷山中央一丁目4360)
16 姉妹	1989(H元)	谷山サザンホール(谷山中央一丁目4360)
17 MAE像(頭像)	1990(H2)	市立美術館(城山町4-36)
18 一中生 一高女生	1994(H6)	県立鶴丸高等学校(薬師二丁目1-1)
19 隼人之舞	1996(H8)	県議会議事堂内(鴨池新町10-1)
20 川路利良大警視	1999(H11)	県警察本部前(鴨池新町10-1)



Profile

1926(大正15)年、三重県に生まれる。1949(昭和24)年に鹿児島大学着任。1966(昭和41)年から2度にわたりフランスに留学し、彫刻家アペル・フェノサに師事。1989(平成元)年、日本芸術院会員に任命される。1996(平成8)年にパリで個展を開催。1997(平成9)年には石谷町に「中村晋也美術館」をオープン。その後、2002(平成14)年に文化功労者として顕彰され、2007(平成19)年に文化勲章を受章。2014(平成26)年11月には本市名誉市民の称号を授与される。

彫刻家
中村 晋也
鹿児島市在住